

八丈島 水産だより

3月号
2023年



牧場からの景色

がつちゅうじゅんごろ はちじょうしま ひじょう さむ ひ つづ さいきん とこはる な
2月中旬頃までは八丈島でも非常に寒い日が続いていましたが、最近やっと「常春」の名にふさわしく、暖かい日差しが注ぐ春らしい空気になってきました。

がつ そつぎょうしき きせつ こ りっぱ せいちょう すがた かんどうてき しま こうこうせい がっこう
3月は卒業式の季節です。子どもが立派に成長していく姿は感動的です！島の高校生は学校を卒業すると進学や就職のため島を出る人が多いです。そのため、島の人にとってこの時期は、嬉しさと同じくらいの寂しさ、新しい生活への期待感などいろいろな感情が入り混じる特別な季節です。

■ 最近の漁模様 ~カツオ漁 始めました~

ことし りょう はじ はちじょうしまさん しゅつ
今年もカツオ漁が始まりました。八丈島産のカツオはその出かほうほう たる かの
荷方法から「樽カツオ」としてブランド化されています。しかし、
さんねんぜんこくてき ぎょかくりょう げんじょう はちじょうしま
近年全国的にカツオの漁獲量は減少していて、八丈島でも
へいせいがんねんいこう もつと と とし くら れいわ ねん ぎょかくりょう
平成元年以降で最も獲れた年に比べて令和4年の漁獲量
わりていど ことし そつぎょう すく じょうきょう
は1割程度となっています。今年の操業もまだ少ない状況で
す。カツオ漁は5月頃まで続くので、今後の漁獲に期待したい
いですね。

操業風景



疑似餌(バケ)に食らいつくカツオ

疑似餌



氷と海水を入れた樽にカツオを入れて出荷することで鮮度を保つことが出来る。



樽カツオ

■ 漁師さんの相棒「漁船」について



漁船のメンテナンスをするときは陸上へ引き上げて、船底まできれいにします。



りょうし ぎょぎょう おこな しょう ふね ぎょせん い
漁師さんが漁業を行うのに使用する船を**漁船**と言います。

ぎょせん しょう ばあい ぎょせんとうろく てつづ おこな
漁船として使用する場合は**漁船登録**という手続きを行います。

ぎょせんとうろく ぎょぎょう おこな ぼしょ うんこう ほんきょ ぼしょ
す。漁船登録は漁業を行う場所または運航の本拠となる場所を管理する都道府県に申請することになります。

ぎょせん りょうし あいぼう たいせつ
漁船は漁師さんにとって相棒のようなとても大切なものです。

りょうし りょう で ひ し け つづ じき
す。そのため、漁師さんたちは魚に出ない日や時化が続く時期には船底の汚れを落としたり、塗装の塗り替えをしたり、

せんてい よご お とそう ぬ か
日々の感謝の気持ちを込めてメンテナンスを行っています。